

# 藻類及び光合成微生物による 新エネルギー変換・CO<sub>2</sub>対策最新技術

これまで光機能材料研究会では、「光機能」「エネルギー変換」に焦点をあて講演会を開催してきました。今回は最近、大変注目されている「藻類」「光合成微生物」について、第一線でご活躍の講師の皆様へ、出来るだけ時間をとっていただき、じっくり聞ける講演会として企画いたしました。

日時： 2009年10月14日(水) (受付午後1時)午後1時30分から午後4時55分まで  
 場所： 東京大学先端科学技術研究センター 4号館 2階講堂  
 地図： <http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/maps/index.html>

## プログラム

13時30分～13時35分 開会挨拶

1、13時35分～15時15分 (講演1時間30分、質疑応答10分)

### 光合成微生物機能を用いた水素発生用バイオ分子デバイスの最新動向(仮)

講演概要はホームページに掲載いたします。 大阪大学大学院・基礎工学研究科 教授 三宅淳氏

2、15時30分～16時50分 (講演1時間10分、質疑応答10分)

### 微細藻類を用いたCO<sub>2</sub>固定とバイオ燃料生産—デンソーにおける取り組み

株式会社デンソー 基礎研究所 藏野憲秀氏

全地球的な温暖化傾向が確実視されている現在、低炭素社会への移行は喫緊の課題であり、化石燃料に浮かんだ滾る20世紀文明から、再生可能資源に立脚した落ち着いた21世紀文明への橋渡しの技術が求められている。バイオ燃料の重視はその傾向の現れである。特に最近、1) 食料と競合しない、2) 単位面積あたりの生産性が植物より高い、3) 植物栽培に適さない土地でも利用できる、4) CO<sub>2</sub>固定の能力も高いなどの点から微細藻類によるバイオ燃料生産が話題となりつつある。本研究会では、微細藻類の能力と特長、世界の現状、デンソーの取り組み、バイオ燃料生産の課題について紹介する。

16時50分～16時55分 閉会挨拶

参加費： 会員無料、非会員5,000円、学生無料 (ただし資料代別途)  
 当日現金でお支払いください (領収書発行)

資料： A4版4頁程度 (予定)

申込先： 光機能材料研究会

〒153-8904 東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学先端科学技術研究センター 橋本研究室内

FAX：03-5452-5084

Web：www.light.t.u-tokyo.ac.jp/PFMA

注意事項：変更の際はホームページに掲載いたします  
 写真撮影、録画等は禁止いたします

## 参加申込書

参加資格	会員 (無料)	非会員 (¥5,000)	学生 (無料)
社名			
所属			
氏名			
住所	〒		
電話		FAX	
メール			